

西伊豆健育会病院

医療連携室 朝賀瑞乃

- 功 績** 第10回西伊豆健育会病院医師研修会の大規模開催を成功に導き、新たな医療連携に繋げた功績。
- 推 薦 者** 事務主任 藤井小百美
- 推 薦 理 由** 短期間の準備にもかかわらず、迅速かつ的確な調整力で研修会を成功へ導きました。講師招聘から会場・宿泊手配、広報まで抜かりなく対応し、100名規模の開催を実現。限られた時間で成果を上げた功績を称え、推薦いたします。

内 容

西伊豆健育会病院では、毎年「西伊豆健育会病院医師研修会」を開催しております。この研修会は、著名な講師をお招きし、最前線の治療・ケアを学ぶ機会を提供すると同時に、当院で勤務・研修した医師との交流を深め、医師確保にもつなげる重要な取り組みです。この研修会の企画・運営を担い、計画から実行に移したのが医療連携室長兼医局秘書の朝賀です。

今年1月11日に開催された第10回研修会では、「人としての尊厳を守るケア」として画一された認知症ケア技法である「ユマニチュード」創設者イブ・ジネスト先生、東京医療センターの本田美和子先生、林智弘先生を講師として招聘しました。

多忙な講師陣による講演会の為、日程調整が困難な中、朝賀は粘り強く交渉、開催実現にこぎつけました。日程決定後は、会場・送迎・宿泊手配の調整に加え、健育会グループ内の各施設への告知に尽力しました。さらに高齢化が進むへき地医療の現場にこの研修の学びを広げるべく、地域の医療・介護施設にも広く案内を送付。結果、約100名が参加する充実した研修会となり、地域の医療・福祉関係者からは「非常に勉強になり、早速施設でも取り入れたい」との高評価を得ました。

また、この研修会をきっかけに新たな連携が生まれる成果もありました。インド大使館・東ティモール大使館の医務官とのつながりです。「総合診療医としての腕がなまることへの危機感があり、豊富な症例を経験できるへき地医療に触れたい」と申し出があり、4月には1週間の見学受け入れが決定しました。当院において医務官の長期の見学受け入れは初めてです。

短期間の準備でも地域の様々な連携強化という成果を生み出した本研修会を成功に導いた朝賀の功績は大きく、理事長賞に推薦いたします。